

兵庫県立神戸高等学校

令和3年度の魅力ある取組

所在地	神戸市灘区域の下通 1-5-1
電話 FAX	078-861-0434 078-861-0436
課程 学科	全日制 普通科・総合理学科
学級数	1～3年とも各9学級 (普通科8学級・ 総合理学科1学級)
部活動	運動部22 文化部19 委員会3 応援団1
交通	神戸市バス②系統 神戸高校前下車北 へ徒歩3分

学校の特色

本校は、学校創立125年目を迎える伝統校で、「質素剛健」「自重自治」の四綱領のもと、文武両道を目指した教育を行なっている。部活動も熱心に行い、ボート部、山岳部は全国大会に出場、他の運動部も県大会上位に進出するなど大いに活躍をしている。また、文化部も積極的に活動しており、地域との交流事業にも参加している。

約4万6千人の卒業生が学んだ校舎には、本館・講堂棟・科学館・芸術館・体育館(第一と第二)等多くの充実した施設がある。

また、平成16年度からスーパーサイエンスハイスクールの研究指定を受け4期目を迎えている(令和4年度まで指定)。実験器具や装置などの施設が充実し、科学技術人材育成重点校(広域連携)の採択も受け、兵庫県における理数教育の中核としての活動を展開している。

1 学業・部活動・学校行事に全力で取り組む

本校生徒の多くは国公立大学への進学を希望しており、ほぼ100%の生徒が大学入学共通テストを受験する。しかし、その学校生活は受験勉強に明け暮れているのではなく、殆どの生徒が運動部や文化部の部活動に取り組み、勉学との両立を行いながら自己実現を目指している。また、自治会(生徒会)が中心となって伝統のある学校行事の企画から運営までを行っている。

進路指導においても目先の受験指導に陥らぬよう21世紀の中核となりうるリーダーの育成を目指している。

2 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)及び科学技術人材育成重点校指定校

平成16年度からスーパーサイエンスハイスクールとして指定を受け、理数教育の研究開発に取り組んでいる。平成30年には4期目の指定(5カ年)を受けるとともに、令和元年度科学技術人材育成重点校(広域連携)に採択された(4カ年)。

兵庫県の中核として県教育委員会・高校・大学・企業等のネットワークを形成し、SSHの成果を普及するとともに、科学技術人材の育成を目指した事業を展開している。

3 高校生ふるさと貢献活動事業

旧制高等女学校からの伝統を受け継ぐ音楽会は、レベルの高い各学年の合唱コンクールを勝ち抜いた代表クラスによるコーラス、邦楽から管弦楽まで多様なジャンルの各音楽部の演奏や個人演奏等のプログラムを含む。毎年、地域の方々にも鑑賞していただき地域との絆を育む行事となっている。

4 高校生就業体験事業

各界で活躍する卒業生を招き、進路選択に関わる講演を2学期に実施し、文理選択や進路について意識の深化を図る。全校講演会では、卒業生及び企業人による講演を実施し、職業観を養い、社会に貢献できる人材育成を目指したキャリア教育を実践する。

5 インスパイア・ハイスクール事業

- (1) 高大連携：総合理学科で実施していた課題研究を普通科でも実施、大学教授の協力をいただき、高大連携を深めるとともに社会貢献に寄与する態度を養う。
- (2) 国際交流：イギリスとシンガポールにある姉妹校との交流を発展させるとともに、課題研究を英語でプレゼンテーションできるまでに仕上げ、グローバルな人材の育成を図る。
- (3) 東京キャピタルツアー：大学・中央省庁・国会・東京証券取引所等を訪問して大学院生・職員による講話や外交官によるガイダンスを受け、日本の学問・政治・経済・外交について体験的に学び、国際社会で活躍できる人材の育成を図る。
- (4) 伝統行事の継承：本校の伝統的な行事を理解し、本校生としてどのような力を身につけるかを考え実践する。